

次期「西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」

第7回 策定委員会

令和6年10月8日（火）

午後6時30分～8時30分

区社協3階 第1・2会議室

策定委員：5名

助言者：大阪成蹊短期大学 幼児教育学科 鈴木准教授

事務局：区役所 保健福祉課岡地担当係長、保健福祉課大里担当係長

区社協 地域支援担当長谷川係長、長谷川大陽

1 あいさつ

A委員長

2 令和6年度 第1回地域福祉推進会議 振り返り

(1) 各グループのファシリテーターから

ア 認知症で独居の方？と過去に親しかったが、認知症であり声をかけづらい

・困り事が見えていても支えに行きづらい

イ 年齢関係なく自転車マナーが悪い

・ヘルメット未着用者

・歩道と車道の分別なし 等

ウ 周囲が支援を必要と考えても、本人の想いと異なる場合のアプローチが難しい

・周囲の人間関係も希薄なことが多い

・地域が閉鎖的になり、地域資源情報の取得も難しくなっている

エ 地域・町会の認知度・理解度が低下している

・知ってもらふ必要があるが、「個人情報」の壁がある

・地域活動等に、「親」が付き添いに来ないことがある

↳理由は様々か

オ イベント周知等は、直接話した方が参加率が上がる

・チラシをみるだけでは、参加しづらい

カ 区社協だよりが見やすい

キ その他

- ・ こども食堂が増加している
- ・ 外国人や若い世代の地域活動への参加が課題である
 - ↳ ラジオ体操に参加する子どもは多い
- ・ ゲーム課金問題
 - ↳ 依存症・孤立・個人主義 等

→生活課題の多様化

(2) 鈴木准教授から

- ア 支援者支援の視点
- イ 基本的な社会生活を整えるという視点
- ウ 重層的支援体制の視点

3 次期計画について

(1) 基本理念のキーワード

※ブレインストーミング形式で委員等が提案

- ・ つないだ手ははなしません
- ・ ゆるやかなつながり
- ・ 安心安全で暮らせる
- ・ 人情あふれるまち
- ・ 心ふるえる
- ・ 共感しあう
- ・ 寄り添える
- ・ 支えられ上手な心
- ・ 手をとりあう
- ・ つながりの再生（創生）
- ・ 多様につながる
- ・ 新たな価値
- ・ 工夫
- ・ 企業
- ・ 共創
- ・ 共生
- ・ 笑顔
- ・ 開かれた

- ・ 支え合い
- ・ あふれる
- ・ 見逃さない
- ・ あきらめない
- ・ ことわらない
- ・ みんなハッピー
- ・ ハートフル
- ・ ケセラセラ
- ・ 受けとめる
- ・ 向き合う
- ・ ○○しやすい
- ・ 誰がいてもよい
- ・ なんとかなる
- ・ 心をわかち合う
- ・ いろんな
- ・ ごちやまぜ
- ・ なんでも
- ・ フットワークの軽い
- ・ みんな同じ方向へ？
- ・ みんなで仲良く
- ・ 港

(2) 現計画の基本理念

「支え上手 支えられ上手な人が あふれるまち 西淀川」

4 あいさつ

A委員長

鈴木准教授